

2015 年度後期 授業評価アンケート結果に対するコメント

—共通教育研究センター—

共通教育研究センター長 相澤 正彦

全学共通教育科目の前期開講科目のうち、アンケート対象科目は 197 科目であり、このうち 9 科目をのぞく 188 科目についてアンケートが実施されました（実施率 95.4%）。内訳は実施必須科目では 147 科目中、実施された科目は 147 科目すべて（100%）にわたり、任意科目では 50 科目中、実施されたのは 41 科目（82%）でした。協力を頂いた学部生のみなさんは延べ 6,023 名にのぼりました。この場を借りて御礼申し上げます。またアンケートの実施に対し、貴重な授業時間を割いてご協力頂いた先生方にも深く感謝いたします。

周知のように個別科目の集計結果は Campus Square から自由に閲覧することが可能です。おおいに利用していただきたいと思います。さて、授業の満足度を示す「総合的にこの授業を評価できる」の平均は、5 段階評価で 4.26 であり、大学全体 4.30 よりもやや下回りますが、4 学部と比較してちょうど平均ぐらいの水準にあるといえましょう。12 の項目の中で 10 項目すべて 4.0 以上の高い評価を得ています。

個別項目と「総合的にこの授業を評価できる」との相関でみると、例年、相関係数がトップの位置にある「この分野の関心と学力が得られた」は 0.81 となり抜群の数値を示しています。これは前期アンケートの 0.57 をはるかに上まわり、また 4 学部の数値も超えており、各授業の充実度を示すものと言えます。またこのことは「授業への教員の熱意を感じた」が 0.66 という高い数値を示していることとも同調するものと思われ、教員のみなさんの不断のご努力によるものと、重ねて謝意を表する次第です。

さて全学共通教育科目においても、アクティブ・ラーニングの促進を連年、奨励しておりますが、前記した 4.0 に届かなかった 2 項目が、「教員は発言・議論等の授業参加を促した」の 3.64 と「授業中意欲的に取り組んだ」の 3.98 であることは、まだまだ努力せねばならない課題があることもかいまみえます。これは、学生の「予習または復習をよくした」が 3.09 と例年と同じく低い数値を示していることとも同調するもので、学生側の奮起も期待したいところです。

スポーツ・ウェルネス実技科目については、「総合的にこの授業を評価できる」が 4.82 と例年と同じく極めて高い数値を示しており、「運動量は十分であった」の数値が 4.78、「身体の健康等を見直す機会になった」が 4.72 といずれも高いことと相まって、学生におけるスポーツ・ウェルネス関係の関心の高まりと教員みなさんの熱意がうかがわれます。

全学共通教育科目は、教養科目、外国語科目、スポーツ・ウェルネス科目、IT 科目、WRD 科目、データサイエンス科目という構成からなり、基本的な学問体系を学べるよう、また今日的な諸問題に取り組むことができる教養や知力、スキルを習得できるよう、多岐にわたる科目が配されています。このアンケートを通じ、今後も質の高い授業を学生のみなさんに提供していこうと考えています。